

久慈地域エネルギー株式会社

「アマリンでんき」で久慈地域を元気に!!



「アマリンでんき」は、私たちがお届けする電気の愛称です。

会社概要

平成29年10月 5日

会社設立（設立当初の資本金950万円）

構 成 宮城建設株式会社
株式会社細谷地
株式会社ヤマイチ
株式会社中塚工務店

久慈市内の民間企業4社により設立、後に久慈市が資本参加
岩手県で初めての久慈地域資本100%の自治体新電力となる。
現在、株式会社ジュークスが資本参加（資本金1,050万円）

平成30年 1月18日

久慈市及び久慈商工会議所と『エネルギーの地産地消による
地域活性化に関する協定』を締結

平成30年 2月23日

経済産業省 小売電気事業者認可

平成30年 6月 1日

久慈市の主な施設と出資企業を中心に電力供給開始

【私達が目指すところ】

- 1.自治体の電気料金の削減
- 2.電気事業収益の地域循環
と地域の活性化
- 3.地産地消（地域内発電供給）
- 4.地域の電気料金の削減

【地域内の電力供給が目的】

- ・久慈市の施設や設備（アンバーホールや市民体育館など200件以上）を従来の電気料金よりも安く電力を供給しています。
- ・商店、事務所、一般家庭向けの低圧電力の提供を推進して参ります。

【再生可能エネルギーの地産地消が目標】

- ・再生エネルギーの地産地消を進めるため、地域で発電される電気を確保して参ります。

【自立した持続可能な地域社会の達成を目指す】

- ・上エネルギー頁の地域外流出を減少させることで、
地域経済循環を進め、子育て支援など各種支援活動を通じ地域の活性化を図って参ります。
- ・再生可能エネルギーによる電力の供給を充実させることで、これからの企業に求められる環境価値を活かした企業誘致も視野に進めて参ります。

これまでの取組

【電力の供給】

- ・平成30年6月より久慈市の主な施設と出資企業を中心に電力供給開始
- ・10月には、久慈市の観光拠点の一つとなる三陸鉄道久慈駅へ電力供給を開始
- ・デイサービスセンターや商店・事務所、一般家庭向け電力供給を拡大
(平成31年2月には取次代理店による販売を開始)



【地域イベントへの参加】



べっぴん夜市（平成30年9月26日）

会社のPRを兼ねて、チラシや風船の無料配布を実施

産業まつり（平成30年10月13日・14日）

- ・チラシ、風船の無料配布
- ・クイズラリー（景品付）
- ・太陽光パネル展示（照明点灯）



今後の取組

【各種支援】

自治体への支援

自治体新電力として、久慈市と共に地域の豊かな「暮らし」を創造して参ります。

『暮らし』

子育て支援

地域で安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で成長していくために様々な支援を検討、お手伝いして参ります。

『未来』

【エネルギーの「地産」に向けた取組】

1. 地元発電事業者さまからの電源の確保

- ・電力会社との「電気特定卸供給契約」の締結
- ・固定買取契約満了の発電事業者さまとの契約

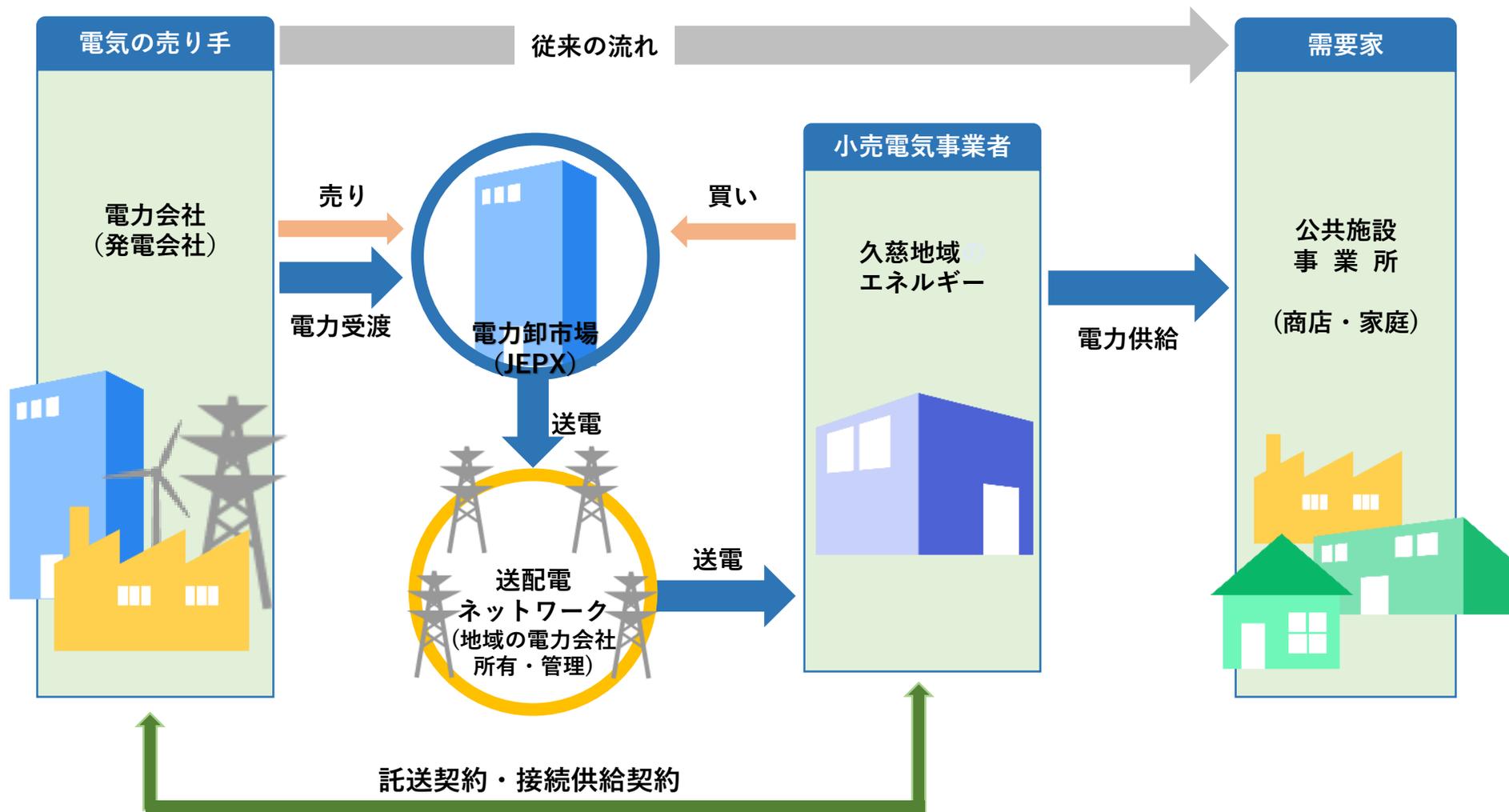
2. 再生可能エネルギーの確保

- ・固定買取契約満了の発電事業者さまとの契約

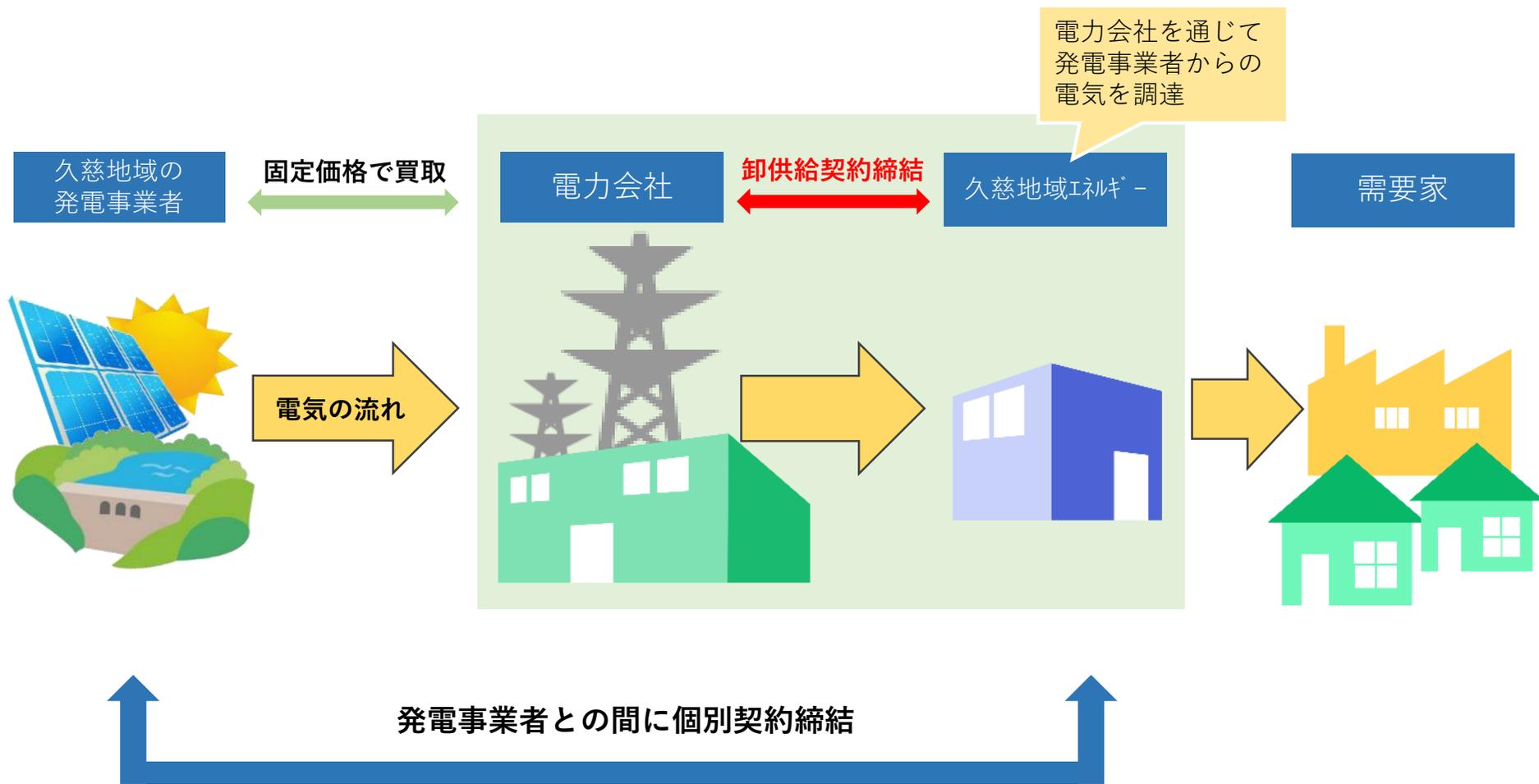
3. 太陽光発電システムへの投資

- ・TPO・PPAモデルの検討（第三者所有モデル）
- ・公共施設などへの太陽光発電システムの導入

● 電力卸市場と電力供給



●地域で発電された電気の活用～（電気特定卸供給契約による供給）



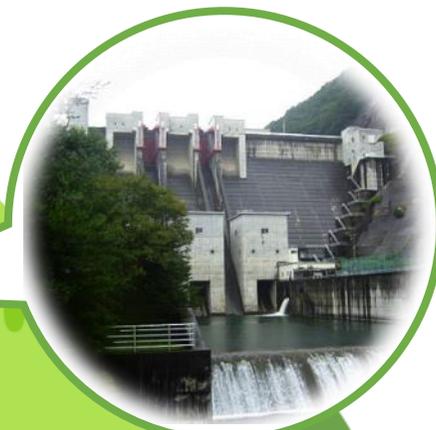
●地域で発電された電気の活用～（久慈市の水力発電所からの電力供給）

再生可能エネルギーのブランド化

「アマリングリーンでんき」は私たちがお届けする環境にやさしいクリーンな電気（再生可能エネルギー）の愛称です。



アマリン
グリーンでんき



滝ダム（水力発電所）



アンバーホール（文化会館）

長内川上流にある滝ダム（企業局が管理運営）で発電された環境にやさしいクリーンな電気（再生可能エネルギー）を企業局から供給を受けて、下流にある「アンバーホール（文化会館）」など久慈地域の公共施設や事業所、一般家庭へ久慈地域エネルギーがお届けします。

●地域で発電された電気の活用～太陽光発電設備の紹介（宮城建設株式会社）



施設名：宮城建設侍浜太陽光発電
所在地：岩手県久慈市夏井町鳥谷4-23-32
発電出力：497.0kW
システム：SW250W（1,988枚）
形状：野だて
角度：20度
【年間推定】
発電量：543,260.90kWh
発電金額：21,708,706円



● 地域で発電された電気の活用～太陽光発電設備の紹介 (久慈地域エネルギー事務所)

施設名：宮城建設住宅工事課事務所

所在地：岩手県久慈市栄町37-136-1

太陽電池容量：8.75kW (250W×35枚)

【年間推定】

発電量：10,004kWh/年

発電金額：275,417円/年

【環境貢献度】

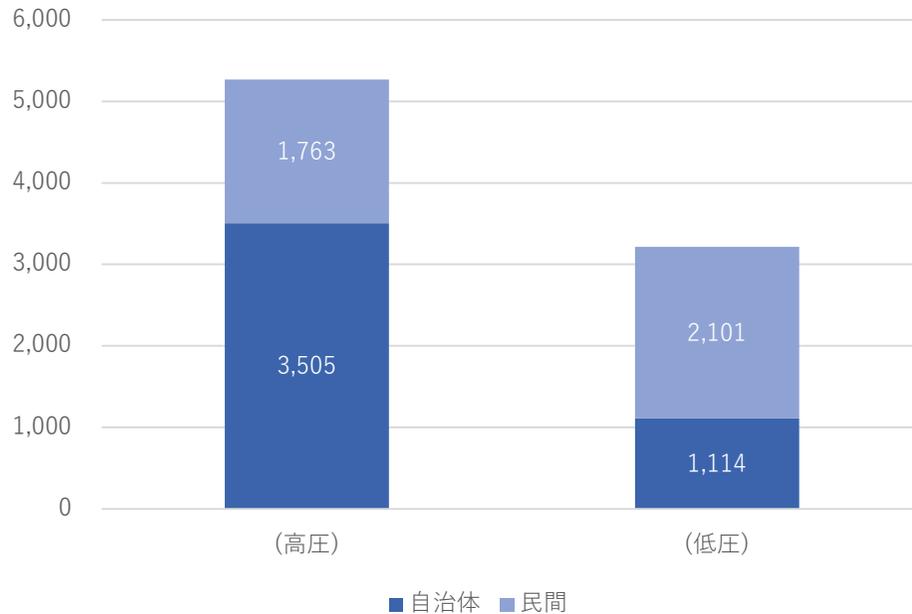
石油削減量：2,270リットル/年

CO2削減効果：5,337kg-CO2/年



営業状況 (2019.10月現在の状況)

契約電力量



契約電力は着実に増加しており、すでに黒字経営のベースとなる5,000kWを大きく超え、安定から拡大時期へと入る1万kWも十分視野に入る。

一方、事業安定の重要な要素として、高圧と低圧のバランスがある。当初、久慈市の公共施設の割合が大きかったため、高圧への偏りが見られた。しかし、今年の初頭から一般家庭への供給を始め、低圧の契約が飛躍的に伸びている。現在の高低圧のバランスは、2対1であるが、今後、理想的なバランスとされる1対1へ急速に近づくと考えられる。これによって経営のさらなる安定が見込まれる。

● 契約電力 (単位：kW)			(2019年10月末現在)
	自治体	民間	計
(高圧)	3,505	1,763	5,268
(低圧)	1,114	2,101	3,215
計	4,619	3,864	8,483

● 供給地点数 (単位：地点)			(2019年10月末現在)
	自治体	民間	計
(高圧)	22	15	37
(低圧)	191	416	607
計	213	431	644

エネルギーの地産地消による地域活性化に関する協定

平成30年1月18日 久慈市と久慈商工会議所、久慈地域エネルギーは「エネルギーの地産地消による地域活性化に関する協定」を締結、再生可能エネルギーの普及を促進し、地域での経済循環を進める事とした。

2018.1.19付、各社新聞報道記事より

エネルギー地産地消 久慈の自治体新電力が協定

久慈市と久慈商工会議所（向正彰会頭）、市が出資予定の自治体新電力会社「久慈地域エネルギー」（竹田和正代表）は18日、エネルギーの地産地消による地域活性化に関する協定を締結した。再生可能エネルギーの普及を促進し、地域での経済循環を進める。同日、市役所で調印式が開かれ、遠藤譲一市長、向正彰会頭、竹田代表が協定書を取り交わした。

協定では、▽電力小売りなどの事業推進▽電力以外の熱、交通エネルギーの検討▽災害時のエネルギー対応▽情報発信、講演会やセミナーの開催などについて、協力・連携して取り組むことを定めた。

久慈市市長は「グリーンエ

エネルギーを自給自足できる（向正彰会頭）、市が出資態勢が整った。市民だけでなく、全国に発信し先進地としたい」と強調。竹田代表は「自然のマイナスの部分でなく、再生可能エネルギーというプラスの部分を生かし、大きく育てていく」と抱負を述べた。

岩手県内初の自治体新電力である同社は、同市の民間4社で設立。今春にも公共施設や地元の民間事業所への電力供給を開始し、将来的には一般家庭への販売も目指す。

電気料金は現在より数割は安くするという。初年度の2018年度は、高圧と低圧を合わせ6600円程度の供給と約7億円の売り上げを見込む。

（工藤洋平）

再生エネ地産地消

久慈市、同市栄町の小売り電気事業久慈地域エネルギー（資本金950万円、竹田和正社長）、久慈商工会議所（向正彰会頭）は18日、エネルギーの地産地消による地域活性化協定を結んだ。同社は地元資本100%の企業で、今春にも市内の公共施設などに電力供給を始める予定。電気熱、交通分野の再生可能エネルギーの地産地消を目標に、自立した持続可能な地域社会の達成を目指す。

調印式は市役所で行われ、遠藤譲一市長、竹田社長、向正彰会頭が協定書に署名し取り交わした。協力連携事項は▽同市から流すエネルギー賣を削減し、地域での経済循環を進めるためのエネルギーの地産地消▽熱や電気自動車（EV）などで注目を集める「双通エネルギー」の地産地消に向けた検討、推進▽災害時のエネルギー対応▽再生可能エネルギーの普及を促進し、地域での経済循環を進めることなどを定めた。

久慈地域エネルギーは2017年10月、同市に本社を置く官庁建設、細谷地、資して設立。経済産業省に「請出で、早ければ2月の登ヤマイチ、中塚工務店が出小売り電気事業登録を申請を見込んでいます。

久慈市と事業者、商議所 活性化目指して協定

今春にも電力供給開始

再生可能エネルギーの推進を図る市は同社に50万円の出資を決定。同社の認可後に投資手続を進める。市によると、自治体が出資する「自治体新電力」の誕生は本県初め。

同社が市に委ねる今春以降、当面は市民センターや体育館などの市庁舎施設、地元民間事業所に電力を供給。太陽光をはじめ地元再生可能エネルギー発電施設から積極的に調達する。経営基盤を定めて責任も担う。

竹田社長は「協定締結は地域とともに歩む第一歩。市、企業、住民、発着事業者の皆さまと協し、地域貢献の輪を広げていきたいと思います」と展望する。

久慈地域エネルギー株式会社
TEL.0194-52-8285

トピックス

● 協定書（実現に向けた取組）

エネルギーの地産地消による地域活性化に関する協定書

久慈市（以下「甲」という。）、久慈地域エネルギー株式会社（以下「乙」という。）及び久慈商工会議所（以下「丙」という。）は、久慈市におけるエネルギーの地産地消による地域活性化の実現に向けた取組に関し、次のとおり協力連携協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲、乙及び丙が、次条各号に掲げる事業に連携して取り組むことにより、久慈市における再生可能エネルギーの推進及び豊かで自立した持続可能な地域社会を達成するため、エネルギーの地産地消による地域活性化の実現に関し協力することを目的とする。

（協力連携事項）

第2条 甲、乙及び丙は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について協力連携して取り組む。

- (1) 久慈市から流出するエネルギー費を削減することにより、地域での経済循環を進めるため、再生可能エネルギーの普及を促進し、地域内の資本による再生可能エネルギー施設を拡大することなどによりエネルギーの地産を進めること。
- (2) エネルギーの地産地消を拡充させるため、電力小売などの事業を推進及び支援すること。
- (3) エネルギーの効率化を進めるとともに、電力以外の熱、交通エネルギーについても地産地消を目指して検討及び推進すること。
- (4) 災害時のエネルギー対応など地域の安全・安心の確保を図ること。
- (5) 環境やエネルギーなどの教育、地域の文化や観光について情報発信などに努めること。
- (6) 講演会やセミナーを開くことにより、エネルギーの地産地消について、理解、啓発を図ること。
- (7) 本協定に資する調査、研究、開発、実証事業などに取り組むこと。
- (8) その他、前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

（協定期間）

第3条 本協定の有効期間は、締結の日から1年間とする。ただし、有効期間が満了する日の1か月前までに、甲、乙又は丙から特段の意思表示がないときは、期間満了の翌日から1年間本協定を更新するものとし、その後の更新についても同様とする。

（協議）

第4条 本協定に参加する者は、相互の密接な協力と連携によって第1条の目的を達成するため、協議の場を設ける。

（疑義等）

第5条 本協定に定めがないとき、又は疑義が生じたときは、甲、乙及び丙が協議するものとする。

本協定締結の証として、本書3通を作成し、甲、乙及び丙が記名押印のうえ、それぞれの1通を保有するものとする。

平成30年 1 月18日

(甲)

岩手県久慈市川崎町1番1号
久慈市

市長

遠藤 譲一



(乙)

岩手県久慈市栄町第37地割136番地1
久慈地域エネルギー株式会社

代表取締役

竹田 和正



(丙)

岩手県久慈市十八日町一丁目45番地
久慈商工会議所

会頭

向 正彰



自治体出資「久慈地域エネルギー」

家庭向け電力供給開始

久慈市と市内の民間5社でつくる自治体新電力会社「久慈地域エネルギー」（代表・竹田和正宮城建設社長）は1日から、一般家庭

向けの電力供給をスタートした。自治体出資の強みを生かして市の公共施設を中心に供給先を広げており、今後は一般家庭での販路開拓に取り組む。

市と宮城建設、細谷地、ヤマイチ、中塚工務店、シユークスの民間5社が出資。電力小売り全面自由化を受け、エネルギーの地産地消を目指して2017年に設立された。自治体の出資は岩手県内初。

昨年6月から公共施設や事業所向けの販売を始め、市文化会館・アンバーホールや市民体育館、市学校給食センターなどに電力を供給。供給先は1月末時点で

市内を中心に200カ所を超えた。

今月から細谷地が取次店となり、「アマリンでんき」の名称で一般家庭向けを手掛ける。「家庭向け」と「商店や事務所向け」の2プランがあり、基本料金は東北電力の従量電灯Bや同Cと同額。従量料金は約3%割安に設定したという。

また、細谷地でLPGガスを購入している場合、ガスを購入する際に20円割引するという。

久慈地域エネルギー営業部の勝田雅幸課長は「地元資本のみで電力供給する会社があるということをまずは家庭にも知ってもらえたら」と話している。

問い合わせは、細谷地 電話0194(53)23305へ。

（岩淵修平）



久慈地域エネルギーが電力供給する久慈市文化会館・アンバーホール11日





遠藤市長と竹田社長

自治体新電力 順調な船出



久慈地域エネルギー 初の通年決算黒字

支援金
寄付
子育て
に寄与

久慈 久慈市内資本100%の電力小売会社で同市栄町の久慈地域エネルギー(資本金1050万円、竹田和正社長)は2017年の発足後初の通年決算となる18年度決算が黒字となり、順調な船出となった。市も資本参加し、エネルギー消費を地域活性化につなげる「自治体新電力」の取り組みの一環として200万円を寄付。今後、市の子育て支援策として200万円を寄付。今後も地域密着の経営で販売拡大を目指す。

24日に市内で開かれた株主総会終了後、竹田社長らが市役所を訪れ、遠藤譲一市長に売上高1億6320万円、純利益約920万円となる決算を報告。寄付金目録を受けた遠藤市長は「エネルギー消費が地域

経済に循環する理想的な形。次世代のため大事に使わせていただく」と感謝した。

同社は17年10月に同市に本社を置く宮城建設、細谷地、ヤマイチ、中塚工務店、ジュークスの5社で設立し、市も50万円出資した。久慈地域エネルギーによると、自治体出資の新電力会社は東北地方の市町村単位では同社のみ。

18年度は市の公共施設を中心に約7・6メガワットを販売した。今年4月から一般家庭へ販売を開始し、19年度は約9メガワットの供給を見込む。電力は主に卸電力取引市場から調達しているが、徐々に太陽光など地元発電業者からの買い取り量を増やす。

竹田社長は「エネルギーの地産地消による地域貢献が会社設立の狙い。地域に貢献できうれしい。今後もイベントへの積極的参加など地域密着の活動を進めると語る。

遠藤譲一市長に目録を手渡す竹田和正社長(右)

久慈地域エネルギーでは、2017年の発足後初の通年決算となる2018年度決算において、お陰様をもちまして黒字となりました。エネルギー事業を通じた地域活性化につなげる取り組みの一環として、市へ子育て支援などに向けた支援金を寄附させていただきました。久慈地域エネルギーではこうした取り組みを今後も積み重ねて行く事で地域の活性化に寄与して参りますので、皆様のご理解とご協力を今後とも宜しくお願いいたします。



チラシの紹介（久慈地域エネルギー株式会社）

知っていますか？
久慈市の
「自治体新電力」

初期費用なし、
かつ安心・安全！

電気代を
見直して
みませんか？

北郷の湯ひ
アマリン
でんき

宮城建設 雑谷地 ヤマイチ
中塚工務店 ジュークス

「アマリンでんき」は、久慈市と久慈市内に本社をおく
民間企業ら社がお届けする地域密着型の
「自治体新電力」の愛称です。

「アマリンでんきをおススメする理由」

- 1 費用負担0円
しかも電気代がお得！
初期費用は不要で電気代を安くご利用いただけます。お昼については、夜間をご安くください。
- 2 これまで同様
安定した電気をお届け！
一般電気事業者（電力会社）の送電線を通じて電気をお届けします。また、バックアップ契約により安定した電力の供給が可能です。
- 3 自治体新電力
だから安心！
久慈市の主な施設に電力を供給している発電所など、将来に遡って継続的に電力の供給が可能であり安心して電気をご利用いただけます。また、電力小売事業者から得られた収益の一部は、地域の様々な支障に目けるなど地域の活性化に取り組みさせていただきます。

電気の種類は、高圧のお客さま（事務所ビルや工場など）または、低圧のお客さま（商店・事務所・飲食店や一般家庭など）になります。

「おトクな料金プラン」

「アマリンでんき」のおトクな料金プランで電気代を節約

現在ご契約プラン
【従量電灯B】
契約容量40kVA
平均使用電力量
360kWh/月の場合

現在ご契約
約10,261円/月

アマリンでんき
【従量電灯B】

約9,990円/月

ひと月当たり
271円おトク
年節約
3,257円
おトクに!!

※上記料金プランは別紙契約書詳細を含み、再エネ賦課金及び燃料調整費は含まれておりません。

低圧のお客さま
商店・事務所及び
一般ご家庭向け料金プラン

現在ご契約プラン
【従量電灯C】
契約容量10kVA
平均使用電力量
1600kWh/月の場合

現在ご契約
約48,252円/月

アマリンでんき
【従量電灯C】

約46,212円/月

ひと月当たり
2,040円おトク
年節約
24,480円
おトクに!!

※上記料金プランは別紙契約書詳細を含み、再エネ賦課金及び燃料調整費は含まれておりません。

高圧のお客さま
ビル・商業施設・工場など
法人向け料金プラン

「業務用電力」「業務用ウィークエンド電力」「高圧電力」など契約電力50kW以上、
2,000kW未満でご契約されているお客さまを対象としたお得な料金プランもございます。
詳細はご契約の電力会社や料金プランによって異なる場合がございます。

「セットでおトク」

「アマリンでんき」とLPGガスをセットでご加入の場合、
さらにおトクな割引もご利用いただけます。

久慈地域エネルギー株式会社
「アマリンでんき」取次代理店契約を結んでいます。

株式会社雑谷地とLPGガスご契約の方、またはご契約をご検討されている方!!「アマリンでんき」とLPGガスをセットでご加入した場合、さらにおトクな割引やラフカードポイントが適用されるサービスです。特に電気やガスを多くご利用される「商店」「飲食店」などのお客さま向けのおトクな料金プランです。

※1 申し込み・お問い合わせは、株式会社雑谷地 TEL 0194-52-8285 までお願いしております。
※2 株式会社雑谷地は、「久慈地域エネルギー株式会社」の取次代理店です。

見積
無料

まずはお気軽にご相談ください
☎0194-52-8285

久慈地域エネルギー株式会社
〒028-0024 岩手県久慈市深町37-136-1
FAX 0194-75-4137

チラシの紹介（株式会社細谷地） 取次代理店

電気料金をもっとお得に見直しませんか？

「ガスと電気」をまとめると、
とってもお得！

お得1

ガスと電気の
セット割引

お得2

ララカード
ポイントサービス

お得3

ガスと電気の
一括精算

■ガスの平均使用量10m³/月と
電気の平均使用量380kWh/月の場合

ガスのセット割引(2,592円)
+電気(3,257円)=**年間で5,849円お得!**

■電気メリット試算「従量電灯B」の場合

契約電力	平均使用電力量	年間約	お得
30A	250kWh/月	1,403円	お得
40A	380kWh/月	3,257円	お得
50A	480kWh/月	4,997円	お得
60A	620kWh/月	7,433円	お得

※ご契約の電力会社や料金プランによって異なる場合がございます。

■電気の販売は、従量電灯B(30A~60A)と従量電灯Cのお客さまが対象となります。
地元の新電力会社、久慈地域エネルギー株式会社様の電気を販売いたします。

電気の切替についてのQ&A

Q: 停電が増えたり電気が不安定になったりしないの？
電線や設備はこれまで通りです。停電が増えたり不安定になったりする事はありません。

Q: 手続きが面倒じゃないの？
電気の切り替えはとても簡単です。当社に申し込みをするだけです。工事はありません。

Q: 申込みをする時に準備しておくものは？
「電気ご使用量のお知らせ」と「印鑑」の準備をお願いします。

Q: 初期費用はどのくらいかかるの？
初期導入費用、設備導入費用、変更手続きに費用は一切かかりません。

Q: 電気料金の支払い方法は？
口座振替でのお支払いとなります。
ガス料金と一括精算ができます。



お手続きの流れ

- お申込み・お問い合わせ**
 - 担当スタッフがお伺いいたします。
 - 当社の駅前店舗(家電プラザ店)でもお申込みできます。
- 契約内容の確認**
 - 「電気ご使用量のお知らせ」をご準備ください。
 - 従量電灯B(30A~60A)と従量電灯Cのお客様が対象となります。
- 申込書の作成**
 - 印鑑をご準備ください。
- 供給開始**
 - 担当スタッフから供給開始日をご連絡いたします。

いつもご利用いただきありがとうございます。
電気ご使用量のお知らせ

2018年〇月〇日(月)から〇月〇日まで

ご契約種別 従量電灯B
ご契約電圧 30A

ご使用量 000 kWh
【前月分のご使用量】 000 kWh
【前年同月分のご使用量】 000 kWh

指定区内
〒0194-5323 岩手県久慈市長内町1-17-100
TEL.0194-53-2305 FAX.0194-53-2302
http://www.hosoyachi.co.jp

今月分の計算金額(税別) 0,000円
口座振替手数料 0,000円
※印鑑は、契約のご締結時、お持ち込みをお願いいたします。

※記載はイメージです。

■お申し込み・お問い合わせはこちらまで

〒028-0041 岩手県久慈市長内町1-17-100-10
TEL.0194-53-2305 FAX.0194-53-2302
http://www.hosoyachi.co.jp

株式会社 細谷地

最後に…

私たちは、総合エネルギー事業を通じ、エネルギーの地産地消と地域内経済循環による持続可能な地域経済基盤をつくるために、県、久慈市、久慈商工会議所と連携し、地域経済の自立と雇用の拡大など、久慈地域の豊かな「暮らし」と明るい「未来」を創造して参ります。

〒028-0024
岩手県久慈市栄町第37地割136番地1
久慈地域エネルギー株式会社
代表取締役 竹田 和正
TEL:0194-52-8285 / FAX:0194-75-4137
mail: info@kuji-energy.co.jp



連携協定への取組

久慈市は「ゼロカーボンヨコハマ」を目指す横浜市と再エネに関する広域連携協定を結んでおり、久慈地域エネルギーもこの趣旨に賛同し、積極的に支援を行うことで久慈市とも合意しています。再エネ電力の横浜市への供給に関し、久慈地域エネルギーは再エネの調達や横浜への電力の託送など対応が可能であり、今後具体的に協議を進めていきたいと考えています。

● 再エネの調達（FIT電源含む）

久慈地域のみならず岩手県や連携市町村より調達が可能

● 供給先

横浜市内の民間事業所や横浜市の関連施設など

● 供給先の選定

横浜市と連携し供給先を選定するだけでなく、横浜市内の小売電気事業者経由で供給先の掘り起こしが可能

また同社に小売り実務をお願いする事で連携自治体と地元の民間企業での協定実施が可能

● 出資者保有の発電設備からの供給

久慈地域エネルギーの出資者が保有する太陽光発電からの供給（電気特定卸供給）